



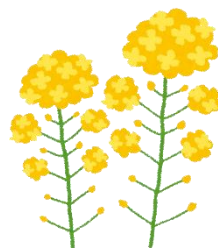
美瑛町そだちの教室通信
6月号
2024年5月22日



保護者面談 ありがとうございます

保護者の方々を対象にそだちの教室の面談を実施させていただいております。ご多用の中とは存じますが、快くご協力くださりありがとうございます。

新1年生の保護者の方は、1学期中に個別の指導計画についてもう一度面談させていただく予定です。



子育てファイル「すとリーむ」の活用

保護者の方には面談の際に美瑛町子育てファイル「すとリーむ」をお持ちください。そだちの教室の指導内容や面談の記録、また個別の教育支援計画や個別の指導計画についても記録して保存していきます。美瑛町では、「すべての子どもをすべての大人で」を合い言葉にお子さんをサポートしていきます。その際に「すとリーむ」が大切な役割を果たします。面談の際には毎回お持ちいただき、終了後、記録の保管をお願いします。

「見る力」ってどんなこと？～視力だけではない視覚機能～

そだちの教室では、子どもたちの力を付けるために、いろいろな取組をしています。その中の一つ、「見る力」について、今年度の通信で一緒に考えていきたいと思っております。

～こんな様子は見られませんか？～



文章を読むのが苦手



文字や図形を書くのが苦手



黒板の字を写すのが苦手



集中して見ているのが苦手



箸やはさみを使うのが苦手



ボールなどキャッチするのが苦手

上のような様子が見られる人は、もしかしたら「見る力」が弱いかもしれません。では、「見る力」とは何なのでしょう。

「見る力」と言えば、視力検査での見え方を想像する方が多いかもしれません。でも、実はそれだけではないのです。その他にも視野、調節機能、両眼視、眼球運動、形態知覚と空間知覚というように、たくさんの見え方が脳に入力されていきます。

脳では情報を処理し、そこからさらに出力として手や身体の動きを指示し、必要に応じて動かすこととなります。これがいわゆる目と手の協応です。このような力を総称して「視覚機能」と言い、これが「見る力」となるのです。

そだちの教室では、お子さんに上のような弱さがあれば、それが「見る力」によるものなのかどうかを検査によって確認しながら、その子にあった指導を考え、実践しています。

次号では、もう少しその中身について具体的に考えていきたいと思っております。

